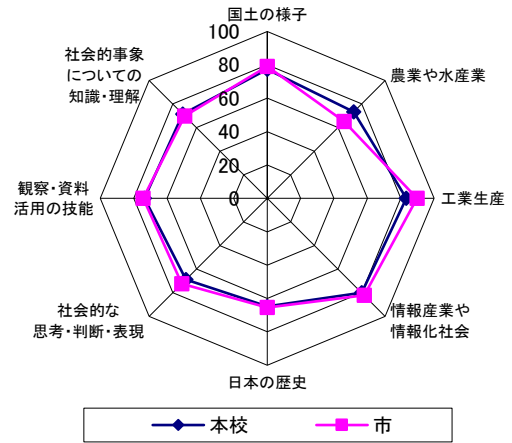


宇都宮市立瑞穂野北小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	77.3	79.1	74.9
	農業や水産業	73.3	65.1	63.7
	工業生産	83.3	89.7	86.2
	情報産業や情報化社会	80.0	82.2	73.1
	日本の歴史	64.7	65.4	65.6
観点別	社会的な思考・判断・表現	68.7	72.2	69.0
	観察・資料活用技能	73.5	74.3	69.2
	社会的な事象についての知識・理解	71.4	69.9	69.3

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	<p>本校の平均正答率は77.3%で、市の平均正答率より下回っている。</p> <p>○日本周辺の海洋名についてはよく理解している。</p> <p>●ロシア連邦の位置を回答する問題での正答率が低かった。</p>	<p>・日本と周辺の国々のつながりを学習していく中で、地図帳を活用し位置を確認させる。また、国際協力の学習を通して、広く世界を見渡せる資質を養っていく。</p>
農業や水産業	<p>本校の平均正答率は73.3%で、市の平均正答率を上回っている。</p> <p>○米作りの作業工程と作業を行う季節についての正答率は市の正答率より高かった。</p> <p>●国産と外国産の農産物の値段の違いの理由を、資料から読み取り、文章で表現する問題に課題が見られる。</p>	<p>・水田に囲まれている本校の立地条件や、学校農園での稲作体験が、児童の稲作に対する興味関心を高めている。</p> <p>・資料から読み取れることをもとに、様々な視点から物事を考えられるよう、児童への質問内容やワークシートなどの工夫を行っていく。</p>
工業生産	<p>本校の平均正答率は83.3%で、市の平均正答率を下回っている。</p> <p>●消費者の多様な需要にこたえ、優れた製品を生産するための工夫や努力について、資料から読み取り考える問題に関して、課題が見られる。</p>	<p>・資料をもとに考察したことを文章で表すなど、他教科の学習とも重ね合わせて、自分の考えをまとめる活動を多く取り入れていく。</p>
情報産業や情報化社会	<p>本校の平均正答率は80.0%で、市の平均正答率を下回っている。</p> <p>○医療での情報ネットワークの利便性について、資料をもとに考えることについては市の正答率を上回っている。</p> <p>●マスメディアの種類に関する問題の正答率が市の平均正答率を下回っている。</p>	<p>・他教科の学習とも関連させ、新聞、テレビ、インターネットなど様々な情報産業の特徴やそれらの情報の利用の仕方について考える機会を多く取り入れていく。</p>
日本の歴史	<p>本校の平均正答率は64.7%で、市の平均正答率とほぼ同じである。古い時代の設問より、最近学習した新しい時代の設問の正答率が高くなっている。</p> <p>●複数の資料から共通点や相違点を読み取り、特徴などを考える問題の正答率が低く、思考・判断・表現に課題が見られる。</p>	<p>・デジタル教材や図書資料などを用いて、資料の読み取りをさらに深め、歴史的な事象の知識の定着を図るとともに、歴史新聞作りなど、資料から考えられることをまとめ、表現する活動を多く取り入れていく。</p>